

ドクタークローズアップ 小児科 中島 美佳 医長

DOCTOR

ドクター
クローズアップ
closeup ①

函館中央病院小児科医長 中島 美佳 氏



なかじま みか

平成5年北海道大学医学部卒業。

北海道大学医学部付属病院、埼玉県立小児医療センター、東京都立大塚病院、国保松戸市立病院、東京都立大塚病院、東京都立北療育医療センターを経て、平成26年函館中央病院に勤務、小児科医長に就任。

日本小児科学会専門医、日本人類遺伝・日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医、日本小児感染症学会ICD。

今年4月函館中央病院に就任した中島美佳医師は新生児や障害児、臨床遺伝を専門とする小児科医だ。函館出身の中島医師は「小学学校の低学年までは風邪をひいて学校を休むことが多かったです」と話す。「幼少期から小児科の医師には随分とお世話になつたことから、医師になることを志す

今年4月函館中央病院に就任した中島美佳医師は新生児や障害児、臨床遺伝を専門とする小児科医だ。函館出身の中島医師は「小学学校の低学年までは風邪をひいて学校を休むことが多かったです」と話す。「幼少期から小児科の医師には随分とお世話になつたことから、医師になることを志す

高校卒業後は北海道大学医学部に進学。「産科の不妊治療に興味をもつたことがあります、臨床実習の中島医師は「小学学校の低学年までは風邪をひいて学校を休むことが多かったです」と話す。「幼少期から小児科の医師には随分とお世話になつたことから、医師になることを志す

勤務したいと考えるようになりました」。平成6年埼玉県立小児医療センターで未熟児新生児科に勤務。平成7年から2年間は東京都立大塚病院で幅広い小児科の分野を勉強してきた。中島医師は日本人類遺伝学会の臨床遺伝専門医だ。現在ではさまざまな疾患や病態に遺伝・遺伝子情報が

今年4月函館中央病院の小児科医長に就任

婦、胎児、新生児を系統的かつ一体的なものとして取り扱う母子医療、特にハイリスク患者を対象とした高度専門医療を提供するセンター病院としての役割を担っています。未熟児・新生児部門では退院後の発育、発達・栄養相談、言語療法や運動療法などのリハビリテーションとの連携を行っていました」。

「函館中央病院は市内でも規模の大きな病院ですが、よくまとまっているところが大きな特徴です。なにより函館弁で仕事をできることが嬉しいですね」。休日には20年ぶりの函館の街散歩や道南の温泉巡りを楽しんでいる。

平成10年からは再び東京都立大塚病院新生児科に勤務する。「都立大塚病院は妊

産科医師として理解し、病気の予防や早期発見、治療・療養などとの橋わたしします。また、合併症がある場合などは各専門医などの医療関係者との協力も欠かせません」

診療では「患者である子供たちはもちろんのこと、お父さんやお母さんの話をよく聞くこと。それと病院に勤務するさまざまな診療科の医師とのより良いコミュニケーションの構築」を心がけている。函館では開業産科から病院に上手にバトンタッチされていることから、早産のケースが少ないとも話す。

「函館中央病院は市内でも規模の大きな病院ですが、よくまとまっているところが大きな特徴です。なにより函館弁で仕事をできることが嬉しいですね」。休日には20年ぶりの函館の街散歩や道南の温泉巡りを楽しんでいる。